



かわさき SDGs 大賞2023



2023受賞者



川崎市立平間小学校

平間小学校SDGs 3つの誓いでSDGsのまち川崎をめざせ！



川崎市立新城小学校

センサリーマップでだれもがくらしやすいまちに！



Miraiallかわさき

川崎発！子どもたちのより良い未来のために医療のエコ活動を広めよう



ウォータースタンド株式会社

マイボトルと給水で使い捨てプラ・CO2削減、気候変動適応を目指す「ボトルフリープロジェクト」



明治安田生命保険相互会社 川崎支社

健康寿命の延伸、地域協創を企図とした「みんなの健活・地元の元気プロジェクト」の展開

かわさきSDGs大賞2023

大賞

川崎市立平間小学校

平間小学校SDGs 3つの誓いでSDGsのまち川崎をめざせ！



■取組の具体的な内容

- ・授業だけでなく、児童会、委員会、PTAなど学校全体でSDGsに取り組み、地域を巻き込んだ活動を長年実践している。
- ・学年ごとに多摩川、気候変動などテーマを定め、低学年から様々な地域の大人（企業・行政・NPO・大学等）との協働によりSDGs推進・広報活動などに取り組んでいる。
- ・児童がSDGs達成に向けた行動を地域に発信する具体的なアクションを重視し、他の学校の模範となる先進的な取組を低学年から継続して実施することで、児童が自分事としてまちづくりを考えることが出来ており、保護者など地域の大人にもSDGsが浸透している。



事業者情報（団体等の概要）

- ・SDGsの理念で学校経営を行い、地域を巻き込むSDGsアクションを展開。毎年多くの企業や団体等が参加する「平間SDGsフェス」では他校からも視察が来るなど、平間SDGsの波及効果が起きている。
- ・長年実践している多彩なSDGsアクションが評価され、第4回ジャパンSDGsアワード（2020年度）ではSDGsパートナーシップ賞、第11回スマートライフスタイル大賞（2022年度）では最優秀賞を受賞。

優秀賞

川崎市立新城小学校

センサリーマップでだれもがくらしやすいまちに！

■取組の具体的な内容



- ・従来のSDGs学習を踏まえ、児童からのアンケート結果をもとに、児童にとってイメージがしづらくこれまで取組が薄かった福祉分野のSDGsに注目。明治大学の研究室と連携しながら、光や音などの感覚情報を表した学校内のセンサリーマップを作成した。
- ・マップの作成にあたり、アンケートから感覚の違いをセンサリーグラフで可視化、話し合い、校内調査でセンサリーマップづくり、気づきの共有と授業の流れをパッケージングした。GIGA端末を活用することで、どの学校でも感覚多様性について学び、児童が話し合いながら課題を自分事として考えられるよう工夫している。
- ・今後も商店街や地元企業とのつながりを活かし、地域への広がりをめざしている。



事業者情報（団体等の概要）

- ・令和3年度からSDGsを教育活動の柱と位置付け、持続可能なまちの未来に向けて地域と共に多彩なSDGs教育を展開。
- ・これまでも環境学習や防災学習にSDGsを積極的に取り入れ、第11回スマートライフスタイル大賞（2022年度）では地元企業と連携したCO₂削減等の活動により優秀賞を受賞。

かわさきSDGs大賞2023



Miraiallかわさき

川崎発！子どもたちのより良い未来のために医療のエコ活動を広めよう

■取組の具体的な内容



- ・持続可能な医療を将来にわたって提供するために医療資源を適切に活用する「医療のエコ活動」について、音楽教室のノウハウを活かした音楽絵本の作成やコンサートの開催により、子どもにも分かりやすく啓発活動を実施。
- ・難しい問題を分かりやすく伝えるための様々なアプローチを実践し、年齢、言語、性別、障害に関係なく、誰もが取り組み、ワクワクしながら主体的に学ぶ工夫を実施することで、イベント参加者の意識変容や行動変容につながっている。
- ・座談会の実施やアンバサダー企業の認定、小学生向けワークショップなど、様々な取組から「医療のエコ活動」の普及啓発を推進し、今後多世代への啓発もめざしている。



事業者情報（団体等の概要）

- ・子どもたちの未来がよりよくあるために、社会的な問題を解決していくことを目的として設立。川崎市のママ、女性たちへ向けた支援、木育や吃音に関するイベント・ライブなど、親しみやすい手法で様々な社会課題の解決に向けた活動に積極的に取り組んでいる。



ウォータースタンド株式会社

マイボトルと給水で使い捨てプラ・CO2削減、気候変動適応を目指す「ボトルフリープロジェクト」

■取組の具体的な内容



- ・誰もがアクセス出来る水道水を活用した浄水型ウォーターサーバーを設置し、マイボトルへの給水呼びかけすることで、気候変動対策の両輪である緩和策としてのCO₂排出量・使い捨てプラスチックの削減と、適応策としての熱中症対策（水分補給）のニーズを両立している。
- ・2021年に川崎市と使い捨てプラスチック削減に向けた協定を締結し、マイボトル用給水機として市内公共施設に105台のウォータースタンドを設置（2023年8月末）。
- ・快適さ、便利さを実現しながら環境にやさしいライフスタイルへの転換につなげる行動変容を促進している。



事業者情報（団体等の概要）

- ・マイボトルを携帯する新しい文化を創り、気候変動とプラスチックによる環境問題に対応するために、水道水を活用する浄水型ウォーターサーバーのレンタル事業を展開。2030年までに日本の使い捨てプラスチックボトルを30億本減らすことをめざし、公共施設や商業施設など様々な場所で誰もがアクセス可能なウォーターサーバーの設置を進めている。

かわさきSDGs大賞2023



明治安田生命保険相互会社 川崎支社

健康寿命の延伸、地域協創を企図とした
「みんなの健活・地元の元気プロジェクト」の展開

取組の具体的な内容



- 川崎宿立400年を記念した健康ウォーキングイベント、川崎フロンターレホームゲームやスーパー等と連携した健康測定会、企業向けの健康経営認定支援サービスの提供など、市民や企業向けの健康に資する取組を幅広く推進している。
- 行政や多様な主体と連携しながら、特に働き盛り世代に行政サービスや健康情報を日々提供するとともに、地域清掃活動、社協への食料品寄贈など多岐に渡る取組を展開している。
- 川崎支社独自の取組を地域企業と連携しながら推進し、幅広く健康増進の取組を実施することで、地域一体となって市民の健康づくりに貢献している。



事業者情報（団体等の概要）

- 「ひとに健康を、まちに元気を。」をスローガンに、健康づくりの2大プロジェクトとして、健康寿命の延伸をめざす「みんなの健活プロジェクト」と地方創生を推進する「地元の元気プロジェクト」を展開。地域のお客さまに支持される、魅力ある保険会社をめざしている。

制度の紹介

目的

- SDGs推進に向けた機運を高め、具体的な取組の普及及び推進を図ることを目的に、「かわさきSDGsパートナー」のSDGs達成に資する優れた取組を表彰する制度。（2022年度開始）

応募資格

- 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」におけるかわさきSDGsパートナー、かわさきSDGsゴールドパートナー及びその申請者

応募・選考スケジュール

- 募集期間・・・6月13日（火）～7月24日（月）
- 1次選考（書類）審査結果・・・8月21日（月）
- 2次選考（プレゼン）・・・9月22日（金）
- 最終選考・表彰式（プレゼン）・・・10月30日（月）

種類	申請者
大賞	・川崎市立平間小学校
優秀賞	・川崎市立新城小学校
川崎商工会議所賞	・明治安田生命保険相互会社 川崎支社
川崎市産業振興財団賞	・川崎市立平間小学校
川崎青年会議所賞	・Miraiall かわさき
かわさき市民活動センター賞	・川崎市立新城小学校
川崎市地球温暖化防止活動推進センター賞	・ウォータースタンド株式会社

お問合せ先 川崎市総務企画局都市政策部SDGs・国際連携推進担当
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
【TEL】044-200-0374 【E-mail】17sdgs@city.kawasaki.jp

